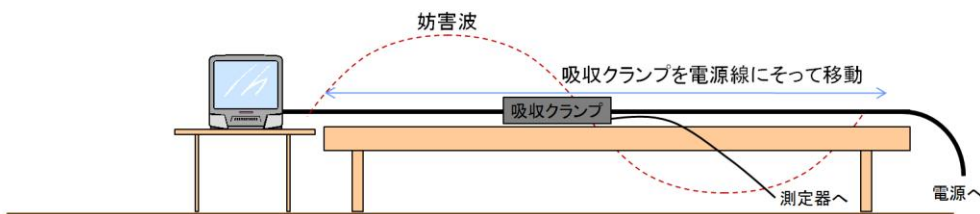


10. 雑音電力測定

装置の電源線上に誘起する妨害波の漏洩電力を
吸収クランプを用いて測定する

代表的測定周波数: 30MHz~300MHz(規格によって異なる場合がある)



福島県ハイテクプラザ EMC-ロメモ®

電源線が一種のアンテナとなり、そこから漏洩する妨害波の電力を吸収クランプにより測定します。

電源線の場所によって妨害波の強さが異なるため、吸収クランプを移動させて一番大きな妨害波の電力強度を測定します。

測定場所としては、シールドルームや電波暗室が用いられます。

※「資料を読まれる方に」もお読みください。